

□ 要請番号 (JL05422A03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

カリンガ産業科学工科大学(KIIT)

3) 任地 (オディシャ州ブバネシュワル) JICA事務所の所在地 (デリー準州デリー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約3.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同校は1992年、小規模(職員2名・生徒12人)な職業訓練センターとして設立された。1997年、工学課程が開始され、2004年には人材開発省によって工科大学として認定されている。インド東部オディシャ州ブバネシュワル市内に位置し、現在では、3万人以上の学生と2500人以上の教職員・研究スタッフを擁したマンモス大学に成長している。インド進出の三菱グループ(三菱商事が主導)が「企業社会的責任(CSR)」の一環として、KIITとの間でインターン受入に係る了解覚書(MOU)を2021年7月に締結しており、それを切っ掛けとして2021年7月からオンライン日本語コース(外部業者へ委託)が開始されている。系列校のKalinga Institute of Social Sciences(KISS)には、ラグビー隊員長期2名、短期8名の活動実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

現在、外部業者に委託運営されているオンライン日本語コースには、エンジニア課程の学生が約1000人応募し一期生としては30名が選ばれている。2022年7月からはKIIT直営の本格的な日本語講座開設が予定されており、同講座の質の向上を目的として、印外務省と日本大使館を通じて協力隊が要請された。同校ではエンジニア修士課程の院生1000人程度を対象とした総時間数1,200時間程度の日本語コースを開講する事となっており、学生の日系企業へ就労機会拡大を目指している。協力隊の同僚となりうる指導陣として4-5名のインド人日本語教師を雇用予定。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 2022年7月開校予定のKIIT直営日本語コースにて、同僚・学生に対し指導・助言等を行う。また目的に合致したコースデザインをおこなう。
- 日本文化や、日本におけるビジネスマナー等を同僚・学生に紹介する。
- 同僚となるインド人日本語教師に対して、教授法を指導する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

職員室および執務デスク、ホワイトボード、マーカー、教科書『まるごと』等。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
インド人日本語教師(30~40代・4名・雇用予定)活動対象者:
日本語履修学生(入門~初級)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：配属先の要望

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：配属先の要請

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(5～45°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

生活使用言語はヒンディー語、オリヤ語になります。

【類似職種】